



2026年5月13日

各 位

会 社 名	株式会社かわでん
代表者名	代表取締役社長 小川 善之
(コード: 6648	東証スタンダード)
問合せ先	取締役経営管理本部長 神保 能郎
(TEL	03-6433-0135)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状の分析・評価を行い、改善に向けた取組状況をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)」をご覧ください。

以 上



KAWADEN

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)

株式会社かわでん

証券コード | 6648

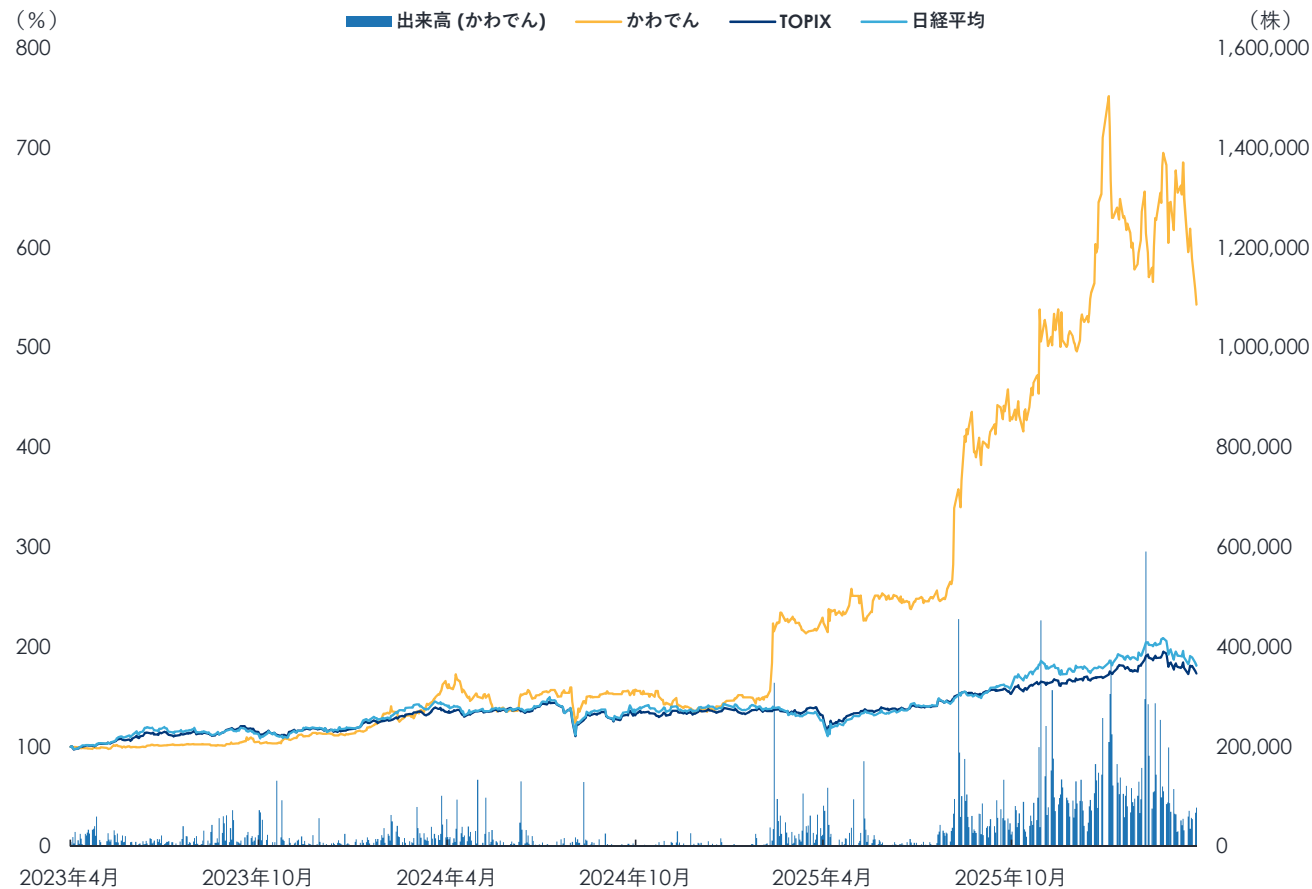
2026年5月

1 現状分析

1 当社株式のパフォーマンス



2025年2月に業績見通しを変更して以降、EPSの増加や配当性向の引上げ等が好感されて株価が上昇。日経平均・TOPIXをアウトパフォーマンス。出来高は増加傾向にあるが、改善の余地は残る



主要指標

(表示単位未満四捨五入)

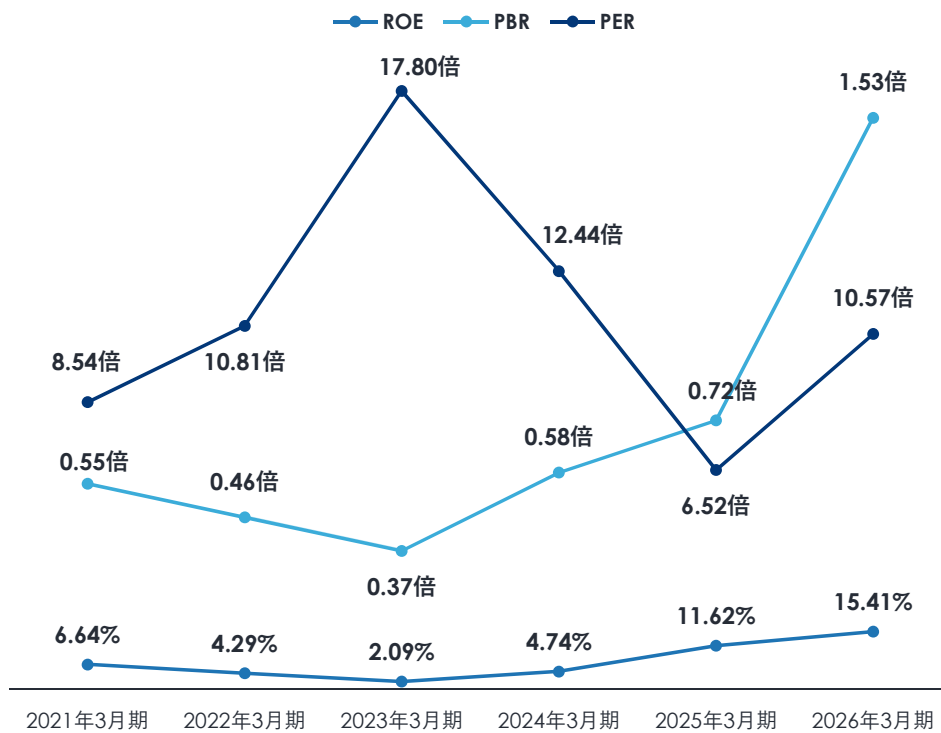
株価 (26/5/12 終値)	2,400円
年初来高値 (26/1/6)	2,780円
年初来安値 (26/3/31)	1,914円
1株当たり年間配当金 (2026年3月期予想)※	65円
普通株発行済株式数	20,960千株
普通株時価総額	503億円

※2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金額を記載しております。

好採算受注の売上計上や部品価格の転嫁が進みROEが当社想定株主資本コスト9%を大きく上回ったことでPBR1倍割れが解消

● PBR・ROE・PERについて

当社実績値



各指標の関係性

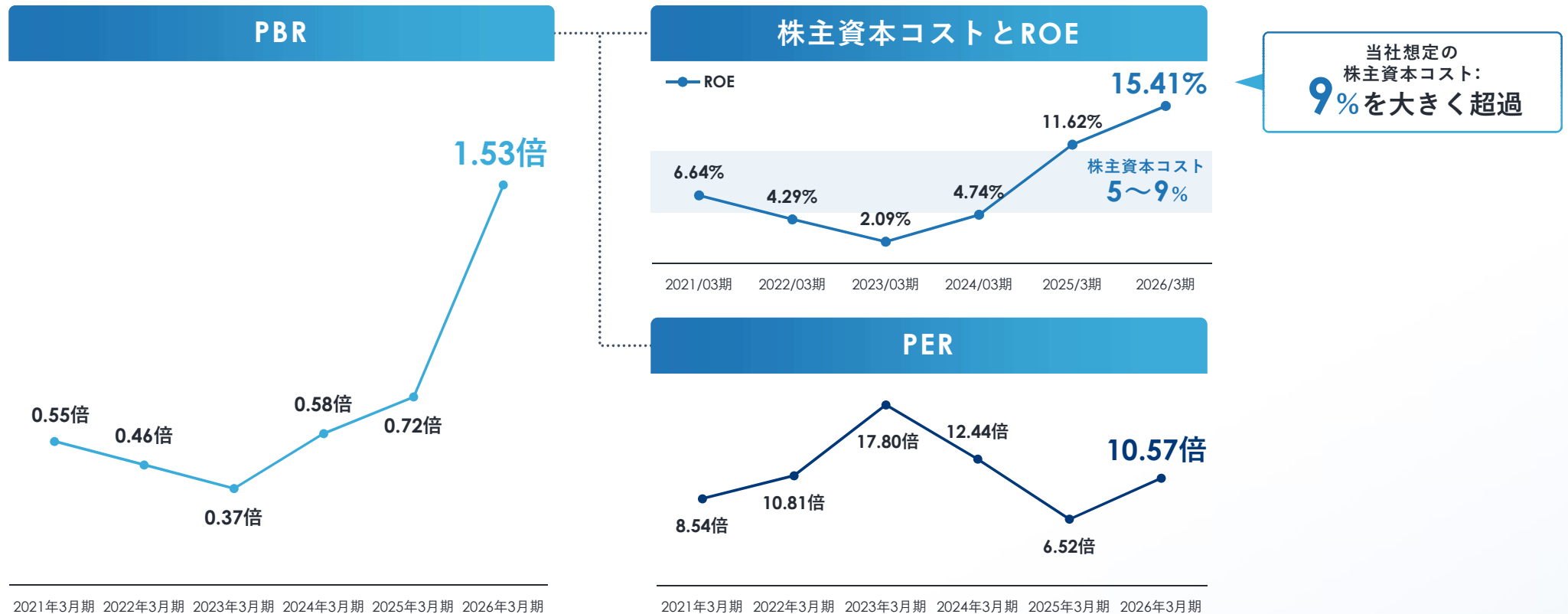
$$\text{PBR} = \text{ROE} \times \text{PER}$$

$$\text{PBR} = \text{ROE} \div \left[\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率} \right]$$

$$\text{ROE} \geq \text{株主資本コスト} - \text{期待成長率} \rightarrow \text{PBR1倍以上}$$



ROEが上昇した事に加え、業績改善を好感されPERも上昇し、PBR1倍割れを解消。但し、当社PER水準は市場平均比では依然低位。引続き開示の充実を通じた適切な成長期待感の醸成や流動性改善に取り組んでいく



引き続き各種取組を強化し、ROE・PER水準の維持・向上と株主資本コストの低減に努めていく

2

中期経営計画と足元の進捗について

次の100年を見据え大きな変革を実現し、更なる価値向上を目指していく



3つの軸で変革と成長を実現

既存事業の強化

標準化・モジュール化により
リードタイムを大幅短縮
×
DX・新工場投資

マーケットシェアを向上

戦略製品の投入
(データセンター向け製品や
省施工製品)

競争力を向上

事業領域の拡大

リニューアル事業のビジネスモデルを再構築
×
M&A投資

事業全体のバリューチェーンを
拡大・循環化

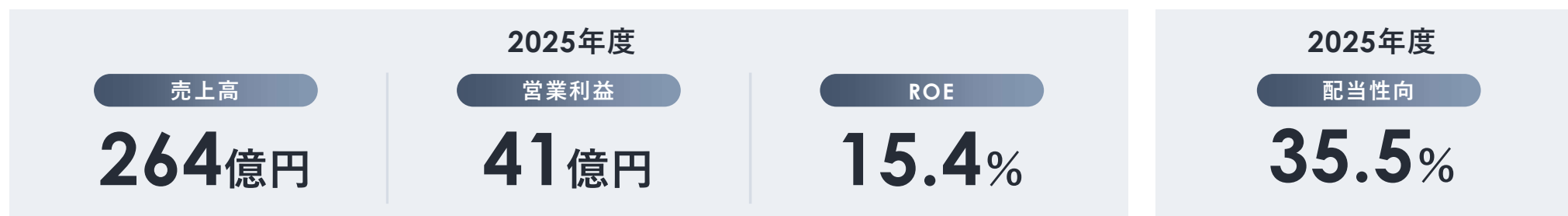
DX・人的資本投資

全社横断の業務プロセス改革とDX
×
積極的な人的資本投資

業務余力の創出を進めながら
お客様への提供価値・従業員価値を最大化

中期経営計画の初年度となる2026年度は営業利益・ROEの各目標を達成と、順調な滑り出し。今後は2029年竣工予定の新工場償却負担も含め、KGI目標が安定的に達成できるよう一層の体質強化に努めていく

● 実績



● 目標



主要施策の進捗は概ね順調に推移中。早期に定量的な成果が発現できるよう取組を加速していく

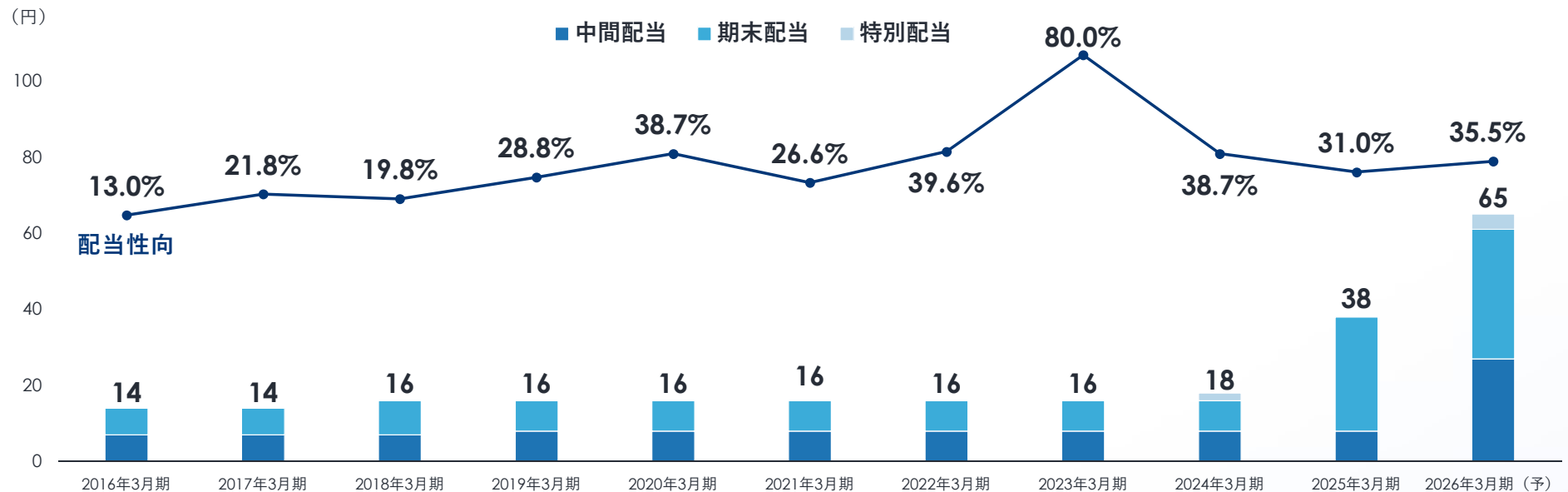
	計画	進捗状況	
<div style="text-align: center;"> <p>1</p> <p>利益創出と 低採算資産の削減</p> </div>	利益創出	<ul style="list-style-type: none"> 製品競争力の強化 	▶ 発熱量抑制に強みを有す「EcoLINE PDU」を上市
		<ul style="list-style-type: none"> リニューアルを起点とした製品ライフサイクル管理強化 	▶ 既設製品のデータ基盤整備が進展
		<ul style="list-style-type: none"> 標準化・モジュール化の推進 	▶ 技術と知見を結集したスタンダード型製品の開発が進展
		<ul style="list-style-type: none"> 原価管理精緻化と工場操業度平準化を中心としたコストマネジメント高度化 	▶ 新原価システムの実装を準備中
	低採算資産削減	<ul style="list-style-type: none"> 手元資金の適正管理 	▶ 工場投資と歩調をあわせ見直し予定
		<ul style="list-style-type: none"> キャッシュコンバージョンサイクル短縮による運転資本の抑制 	▶ 工場投資・新原価システム導入とあわせ管理を強化

主要施策の進捗は概ね順調に推移中。早期に定量的な成果が発現できるよう取組を加速していく

	計画	進捗状況		
<p>2 成長投資の強化</p>	事業投資	<ul style="list-style-type: none"> ・ M&A投資への挑戦 <p>▶ 各種検討を継続中</p>		
	設備・DX投資	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代工場新設 	▶ 新工場建設推進室を発足し計画精緻化を加速	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ DX投資の加速 	▶ 投資計画の精緻化が進展	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産性向上への投資積極化 		
	人的資本投資	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材ポートフォリオ管理強化 	▶ 人的資本投資PJを立上げ検討中	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ リスキル支援と全社横断での人材再配置 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 階層別研修・次期経営層育成 ・ 譲渡制限付株式報酬による感応度向上 	▶ 早期実現に向け継続検討中	
	<p>3 最適自己資本水準のコントロールと株主還元拡充</p>	各種施策の深化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配当性向の見直し 	▶ 配当性向35%以上実現に向け随時取組中
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 負債活用の積極化（DEレシオ1倍程度を意識） 	▶ 工場投資と歩調をあわせ活用具体化予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ HP上での丁寧な情報発信を強化 			▶ スポンサーードリサーチを公表	

将来の事業展開と経営体質強化のための内部留保を考慮したうえで、安定的な配当を行うことが基本方針。
 中期経営計画期間は配当性向35%以上を目指していく

配当実績



株価最高値	660	473	552	670	589	522	537	473	578	860	2,780
株価最安値	402	390	405	502	356	326	436	346	348	440	731

2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金額及び株価を記載しております。

投資家の皆様との対話も徐々に活性化。今後更に開示の充実を目指していく

● 活動実績（2025年度）

開催時期	活動	実施内容	主な登壇者
各四半期 決算発表後	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談（ONE on ONE ミーティング） 	<ul style="list-style-type: none"> 35回 ※期間 2025年4月～2026年3月 	<ul style="list-style-type: none"> 経営企画室担当役員 IR担当者
2025年12月25日	<ul style="list-style-type: none"> スポンサード・リサーチ事業による当社レポート公表 	<ul style="list-style-type: none"> 企業認知、理解促進 	
2026年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> 個人投資家向け説明会（東京） 	<ul style="list-style-type: none"> 企業認知、理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> 代表取締役社長

● 対話内容（2025年度）

主なテーマ	関心事項
業績関連 市場動向/受注環境	<ul style="list-style-type: none"> 売上総利益率、営業利益率の改善要因と今後の見通し 通期業績及び中期財務目標の達成確度
経営方針等	<ul style="list-style-type: none"> 成長投資の進捗状況 中長期的な成長戦略及び成長分野
株主還元/資本政策	<ul style="list-style-type: none"> 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
